



国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

平成25年4月16日(火)
第2627回 例会
(本年度第36回)

例会場 東京第一ホテル鶴岡
(鶴岡市錦町 2-10)

例会日 毎週火曜日
(12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(4/23)のメインプログラム

ゲストスピーチ

鶴岡市議会議員(鶴岡南ロータリークラブ) 佐藤 聡氏

次週(4/30)のメインプログラム

RI規程休会

会長挨拶

阿部純次君

今月始めの4/6~4/7は、東京東江戸川RCとの交流会へ鶴岡クラブ会員9名で参加して参りました。今年は最初の見学先は東京スカイツリーのすぐ隣にあるソラマチ見学と、31階で営業しているアル・ケッチャーノの奥田シェフが監修しました「ラ ソラシド」でスカイツリーを見ながらイタリアンの昼食をとらせていただきました。鶴岡のアル・ケッチャーノとは趣が違いガラス張りの明るい展望レストランでありました。味の方は、舌の肥えている鶴岡人としては「まあまあ」という感想でしょうか…。「ラ ソラシド」での昼食後は、スカイツリーへと移動し高速エレベーターで一挙に高さ350mの天望デッキへと上がりました。東京タワーの Teppen とほぼ同じ高さからの東京一円の眺望はまさに圧巻であり、息を呑む光景でありました。また、その上の450mにある天望回廊にも何名かの会員の方が行ったようではありますが、高所恐怖症の自分としては、350mの天望デッキへ上がるのも命がけであったので、450mの天望回廊は勘弁していただきました。でも、眺めは素晴らしいものでありました。冷や汗をかきながら眺めて来たかいはあったと思います。

その後は、両国にある「江戸東京博物館」へ案内していただき、現在放送しているNHK大河ドラマ「八重の桜・特別展」と常設展示しております企画展「江戸庶民の行動文化」を見学させていただき、その後メインイベントの交流会へと場所を移し、交流会場へ移動いたしました。

夜の交流会は、錦糸町「東武ホテル レバント東京」において、当クラブ9名、東江戸川RC16名、合わせて25名での、賑やかながらも和気あいあいと楽しい交流会となりました。2次会も最上階より東京の夜景を眺めながら懇親を深めさせていただきました。

東京都民と夜の(ネオン街での)市民交流も実施したかったのですが、時間の関係で実現できなかったのが心残りでありました。次回は是非実現したいものだと思います。

東京東江戸川RC皆様の、温かいもてなしに感謝申し上げます。東江戸川RCとは今年の9月に、友好クラブ盟約20周年を迎えます。今後も共に末永い友好が継続するよう確認し合ってまいりましたので報告いたします。

幹事報告

西川 富美子 君

出羽庄内国際村

○第19回出羽庄内国際村ワールドバザール

参加に当たっての希望調査について 締切4/20

○第2回実行委員会開催について

日 時…5月11日(土)午後7時~

会 場…出羽庄内国際村 2F 締切5/9

○出羽庄内国際村音楽祭2013

出演者選考会の開催について

日 時…4月23日(火)午後7時~

会 場…出羽庄内国際村 2F 締切4/21

鶴岡東RC

○すこやかレディースクリニック

すこやかセミナー「水牛家族25年の軌跡」

日 時…4月25日(木)

会 場…すこやかレディースクリニック

時 間…18:00開場 18:30開始

料 金…無 料

庄内総合支庁建設総務課

○平成25年度

山形県ふるさと川の川アダプト事業に係る

活動継続申込書の提出について 締切4/30

出席報告

会 員 数	39名
出 席	28名
出 席 率	75.67%
前々回確定出席率	86.49%

■RI会長 田中作次

■地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL(0235)28-3375 FAX(0235)28-3376

ゲストスピーチ

鶴岡工業高等専門学校校長 加藤 靖氏



みなさんこんにちは。今日は高専の概要、特長をお話したいと思います。

高専というのは全国に51あります。東北地区では一県に校のみで山形ではこの鶴岡だけです。

実は平成16年に改革があって大学も大学法人化しております。鶴岡工専の正式名称は非常に長くて「独立行政法人 国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校」といいます。いわゆる県の教育委員会というのは関係なく文部科学省と直結の教育機関となります。

大学と同じ高等教育局に属しています。特に高専は大学と違って実践的な技術者を育てるということです。多様なキャリアパスを持っている人を採用することにしております。

30%以上が企業経験者を教授としてお迎えしています。80%以上が博士号もしくは修士号を持っております。中には企業から来られた方でいわゆる技術士、英語名でいうとプロフェッショナルエンジニアということで国際的に通用するエンジニアとしての技術資格をもっている教授もおります。

うちは今3人も技術士がいて、これは鶴岡工専の特長になると思っています。高専では高校と違って教育だけではなく、教員も学生も研究をすることが必要です。ですから学生が卒業する時に卒業研究もあります。高専は5年間の一貫教育ですから5年間の本科を出ると短大卒と同じになるのですが、その上に2年間の専攻科というのがあります。これを出ますと大学の学部相当ですので学術機構から学士号がもらえます。専攻科を卒業するとそのまま大学院に進めるということになります。高専はこういった学校で非常に特長のある学校です。

高専は設立されてもう50年も経つのですが、この50年で逆に一般の人々にはあまり理解されなくなっています。ところが海外では非常に評価が高いのです。昨年12月にアメリカのマッキンゼー・アンド・カンパニーという非常に有名な会社が、「教育から雇用へ、解決に向けたシステムデザイン」という報告書を発表しました。その中で日本の高専というのが紹介されたのです。今世界各地で問題になっている若年層の高い失業率、これと即戦力となる技術者不足、その解決策を提案しているのがこの報告書なのです。その中で日本の高専を紹介し、高く評価しています。

全国51の高専が一つの高専機構としてまとまって

いますので、全体で学生数は5万人います。ですから文科省からは高専機構に運営交付金として予算が来るのです。これは規模としても東大、京大の次です。ですから規模としては非常に大きい学校なのです。5万人のものづくりの好きな理数系の学生が学ぶ高等教育機関という訳です。15歳で入学した学生たちは実技実践や学術的訓練のほかに企業でのインターンシップも経験します。

こうした高専の卒業生の信頼から高専の卒業生一人当たり15倍から20倍の求人倍率があります。去年は低かったのですが、それでも8倍を超えています。ですから就職率はほぼ100%、地域の企業とも長く強い信頼関係を築いてきています。

どうぞみなさん機会があれば鶴岡工専に来て戴いてみていただきたいと思います。皆さんの奇譚のない意見をいただけると鶴岡高専の改革に役立つと思いますのでどうぞよろしくお願いします。今日は貴重な時間を戴いてありがとうございました。

委員会報告

◆出席委員会

◎ゲスト

加藤 靖氏（鶴岡工業高等専門学校 学校長）

泉川由紀氏（鶴岡工業高等専門学校）

◎ビジター

仲川昌夫君（東京東江戸川RC）

◎メイクされた方

藤川享胤・伊藤 博・前田 優・真島吉也

斉藤善信・佐藤孝子・菅原成規・村上真彌

スマイル ☺

菅原成規君 先週8日に高校の入学式、9日に小学校の入学式がありました。小中高と分かれてしまいいろいろ大変だと思いますが、楽しみに頑張っていきたいと思います。

武田啓之君 加藤先生ありがとうございます。これからも末永く頑張ってください。50周年おめでとうございます。

越智茂昭君 鶴岡南RCにおじゃましました。木村屋さんのおいしいお菓子頂きました。

塚原初男君 加藤校長先生、スピーチありがとうございました。（泉川さん、ご苦労様です）。東京東江戸川RC観桜会に訪問団の一員として参加させて頂いたこと、仲川さんはじめ東京スカイツリーほかのご案内を含めてお世話になった関係各位に感謝して。

樋渡美智子さん 孫が高専に入学、校長先生のお話で心強く、また今後が楽しみです。学生さんの対応もすばらしかったのが印象的です。

佐々木彦彦君 事務長が高専卒です。娘が国立音大大学院に入学。